

第3回  
「離婚したくなる亭主の仕事」  
調査

2016 年3月

あなたの会社の **e-審査部**  
**リスクモンスター株式会社**

<http://www.riskmonster.co.jp>

## ■ 調査の概要

### 1. 調査名称

第3回「離婚したくなる亭主の仕事」調査

### 2. 調査方法

インターネット調査

### 3. 調査エリア

全国

### 4. 期間

2016年1月23日(土)～1月24日(日)

### 5. 調査対象者

20～49歳の既婚者 男女個人 600人

### 6. 有効回収数

600サンプル

### 7. 回答者の属性

性別・年代 平均 35.88歳

	20代	30代	40代	合計
既婚男性	100	100	100	300
既婚女性	100	100	100	300
合計	200	200	200	600

#### 地域

北海道	東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	合計
30	35	221	113	104	46	51	600

## 1. 調査結果

### [1] 「離婚したくなる亭主の仕事」／夫の仕事に対する満足度

調査対象者 300 名に聞いた「夫の仕事に対する満足度」は、「不満はない」(回答率 48.3%)が「不満がある」(同 51.7%)を若干上回る結果となった。前回までは、「不満がある」が上回る結果が続いており、不満とする回答率は前回 51.7%から 3.4 ポイント低下するなど、夫の仕事に対する不満感が大幅に低下した結果となった。

「不満がある」と回答した内訳を年代別で見ると、20 代(同 51.0%)、30 代(同 54.0%)、40 代(同 40.0%)と 40 代のみが半数以下の結果となり、20 代、30 代とは大きく差が開いた結果となった。

夫の年収別に不満の有無を集計したところ、「300 万円以上 400 万円未満」(回答率 65.2%)が最も不満が高く、次いで「400 万円以上 500 万円未満」(同 61.3%)と、年収 500 万円未満の層において、高い不満が見られる結果となった。さらに世帯年収別に不満の有無を集計したところ、「300 万円以上 400 万円未満」(回答率 66.7%)が最も不満が高く、次いで「400 万円以上 500 万円未満」(同 64.8%)と、夫の年収別における結果と同様の結果が見られた。世帯年収が 500 万円未満の家庭においては、夫の仕事に不満の矛先が向けられやすい傾向にあることがうかがえる結果となった。(図表 A)

また、業種別では、「不満がある」という回答が最も多かった業種は、「卸売業」(同 91.7%)であり、次いで「飲食店、宿泊業」(同 83.3%)、「運輸業」(同 73.7%)、「小売業」(同 73.3%)という順番となった。「飲食店、宿泊業」は前回(同 81.8%)に引き続き、不満の高い業種となった。(図表 B)

### [2] 「離婚したくなる亭主の仕事」／夫の仕事に対する不満理由

「亭主の仕事に不満がある」と回答した理由について集計したところ、最も多かった理由は、「給料が低い」(回答率 73.1%)であり、次いで「残業が多い」(同 40.0%)、「福利厚生が不十分」(同 22.8%)の順となり、上位 2 項目は、前回と同様の結果となった。

不満理由について、年代別に見ると、「給料が低い」という不満は全ての年代において 70%以上の回答率であるのに対して、「残業が多い」という不満は、20 代から 40 代へと年代が高まるにつれて不満度が低下していくことが分かる。また、40 代においては、20~30 代に比べ、「福利厚生が不十分」、「休みが少ない」、「勤務形態が不規則」、「土日が休みでない」といった項目において、不満度が大幅に低い結果となった。(図表 C)

年収別の不満理由に見ると、「給料が低い」という不満は、「500 万円未満」の層においては、80%以上の回答率を有しているが、「500 万円以上」の層では、徐々に不満度が低下し、「800 万円以上」になると大幅に低下する結果となっている。一方で、「残業が多い」という不満においては、「400 万円以上 600 万円未満」の層で高い回答率になる傾向があることを考慮すると、平均年収 415 万円(※)を超える給料は得られているものの、業務量に見合った対価としては不満があり、「働けど働けどなお我が生活楽にならざり」といった不満を有している様子がうかがえよう。(図表 D)

※国税庁「民間給与実態統計調査」2014 年版

### [3] 「離婚したくなる亭主の仕事」／夫の仕事を原因とする離婚意識

夫の仕事を原因とする離婚意識について集計したところ、夫の仕事が原因で「離婚したいと思ったことがある」(回答率 13.8%)が「離婚したいと思ったことはない」(同 86.2%)を大幅に下回ったが、前回(同 12.3%)からは上昇する結果となった。

「離婚したいと思ったことがある」と回答した内訳を年代別でみると、20代(同 9.8%)、30代(同 13.0%)、40代(同 20.0%)と年代が高くなるにつれて回答率も高くなる傾向が見られる。

また、[1]での結果とほぼ逆の結果にあることから、壮年層も現在の年齢に至っては、その不満も受け入れられるようになってきてはいるものの、過去には夫の仕事に不満を持ち、離婚したいと考えたことがあったということなのであろう。

夫の年収別に離婚意識を集計したところ、「800万円以上 1,000万円未満」(同 40.0%)が最も高く、「300万円未満」(同 28.6%)、「300万円～400万円」(同 16.3%)の順となり、平均年収に近い「400万円以上 600万円未満」の層では、離婚意識は低くなる結果となった。さらに、世帯年収別に離婚意識を集計した結果では、「500万円未満」の層において回答率が20%を超える高い水準となり、「500万円以上 800万円未満」の中間層においては、離婚意識が低くなる結果となっていることから、収入が低い層または高い層においては、夫の仕事が離婚意識に繋がりがやすくなるが、収入が平均的な家庭では、仕事が離婚意識に繋がりにくくなるということがうかがえる。(図表E)

業種別に離婚意識を集計したところ、「離婚したいと思ったことがある」という回答が最も多かった業種は、「電気・ガス・熱供給・水道業」(同 33.3%)であり、次いで「資材製造業」(同 28.6%)、「小売業」(同 27.3%)という順番となった。(図表F)

### [4] 「離婚したくなる亭主の仕事」／離婚したいと思う仕事の理由

夫の仕事が原因で「離婚したいと思ったことがある」と回答した理由について集計したところ、最も多かった理由は、「給料が低い」(回答率 85.0%)であり、次いで「残業が多い」(同 35.0%)、「将来性が感じられない会社」(同 25.0%)の順となった。

年代別に見ると、「給料が低い」については、全ての年代において最も高い回答率となっているが、「残業が多い」については、20代から40代へと年代が高まるにつれて回答率も高くなっており、[2]における結果と逆の傾向にあることがわかる。(図表G)

### [5] 「離婚したくなる亭主の仕事」／妻が亭主に勤めてほしい企業像

妻が求める夫の勤め先とは、どのような企業であるか、について調査したところ、夫の仕事に対する魅力の集計結果(図表H)および夫に勤めてほしい企業像(図表I)からは、「日本企業における安定的な雇用形態を確保しており、高収入、土日休み、福利厚生が充実、有給が取りやすい、転勤が少ないなどの待遇面でも恵まれている」ことが、妻にとって魅力的な夫の仕事だと考えることができる。

#### [6] 「離婚したくなる亭主の仕事」／妻の就労状況

妻から見た夫の仕事に対する満足度を調査した一方で、夫から見た妻の就労状況について調査したところ、調査対象者 300 名に聞いた「妻の就労状況」は、「妻が就労している」(回答率 55.0%)が「妻が就労していない」(同 45.0%)を上回る結果となった。

「妻が就労している」と回答した内訳を年代別でみると、20代(同 60.0%)、30代(同 52.0%)、40代(同 53.0%)と、世代ごとに大きなバラつきはない結果となったが、年収別では、500万円を下回ると妻の就労率が高まることが判明した。

業種別では、夫の勤め先業種が「農業」(同 75.0%)、「小売業」(同 72.7%)の場合に、妻の就労率が高く、夫が「娯楽業」(同 0.0%)や「専門サービス業」(同 35.7%)に従事していると、妻の就労率が低くなる結果となった。(図表J)

#### [7] 「離婚したくなる亭主の仕事」／妻の就労に対する希望・妻の就労理由

妻の就労に対する希望を、夫に調査した結果としては、「妻に就労して欲しい」(同 55.6%)が「妻に就労して欲しくない」(同 44.4%)を上回る結果となり、前回(同 55.6%)よりも5.2ポイント上昇した。年代別では、壮年層よりも若年層の方が、妻の就労に対する希望が高く、夫の年収にはさほど左右されてない結果となった。(図表K)

#### [8] 「離婚したくなる亭主の仕事」／妻の就労に関する状況・理由

妻の就労状況の理由について集計したところ、「妻が就労している」理由として最も多かったのは、「家計上は妻が働かなくても問題ないが、妻が働くことには賛成、家事・育児は積極的に協力している」(回答率 41.2%)であり、次いで「自分の収入だけでは、生活に支障がある」(同 33.3%)、「家計上は妻が働かなくても問題ないが、妻が働くことには賛成、家事・育児は妻任せであり、特に不満はない」(同 8.5%)の順となった。

「妻が働くことに反対」している夫は、全体の 4.8%に留まっており、妻が就労している家庭においては、そのほとんどが夫の理解を得られていることが表れている。

他方、「妻が就労していない」理由として最も多かったのは、「妻が子育てに専念しがっている」(回答率 61.5%)であり、次いで「自分の収入だけで十分である」、「家事・育児を両立できる仕事がない」(同 25.9%)の順となった。(図表L)

妻の就労については、[6]で述べたとおり、妻の就労の有無が夫の年収に左右される部分があることは否めないものの、[7]によれば、夫は自身の年収にかかわらず「妻に就労して欲しい」を考えている人が多く、[8]によれば、妻も自らの志向が仕事にあるのか、家事や育児にあるのかによって、自身の就労を選択しているということがうかがえよう。

## 2. まとめ

近年、離婚に関して「3組に1組が離婚している」、「2分に1組が離婚している」などと言われ、離婚率の上昇が注目されている。本調査は、夫や妻の仕事が、婚姻関係にどの様程度の影響を与えているかを調査したものである。

今回の調査結果において、夫の仕事に対して、妻の約半数は不満を有している。その主たる原因は、「日々、長時間の残業を行い、休みを十分にとることができないほどに働いても、十分な収入が得られていない」ことにある。まさに、多くの家庭が「働けど働けどなお我が生活楽にならざり」と感じているのである。

しかし一方で、本調査によれば、夫の仕事が原因で離婚を意識する妻は、わずかに全体の7%程度に留まっており、収入が平均的な水準にある家庭では、夫の仕事の原因とした離婚意識が低くなるという結果が表れている。この結果は、「亭主がまじめに働いて、人並みの生活を送れていれば、妻が離婚を考えることは少ない」ということを示している。

つまり、日本の多くの妻が、「こんなに働いているのに、全然裕福な生活ができない。でも、それは周りの家も同じだから仕方がない。」と感じているということになろう。

また、[6]の結果によれば、半数以上の家庭で妻も就労する「共働き」となっている。しかし、夫の仕事に対する不満理由に反して、妻の就労理由は、経済的な理由よりも妻自身が外で働きたいのか、家事や育児に専念したいのかという志向によるものが多いようである。

昨今、政府が政策として掲げる「一億総活躍社会の実現」においては、少子高齢化の歯止めや、それに伴う経済成長が叫ばれている。男女雇用機会均等法などにより男女平等思想の浸透が進む中、今後は、女性が仕事に専念できる環境や、男女にかかわらず子育てをしながら、仕事においても活躍できる環境の整備が一層求められる。企業の経営者は、従業員が良いパフォーマンスをあげ、自社が時代に沿って成長することができるように、「キャリアウーマン」や「イクメン」など様々なライフスタイルに合わせた仕事の仕方ができる環境を用意していく必要があるだろう。

図表A 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／亭主の仕事に対する満足度 (n=300)

		夫の仕事に不満がある			夫の仕事に不満はない
		今回	前回	変動	
女性全体		48.3%	51.7%	-3.4Pt.	51.7%
年代	20代	51.0%	56.0%	-5.0Pt.	49.0%
	30代	54.0%	51.0%	3.0Pt.	46.0%
	40代	40.0%	48.0%	-8.0Pt.	60.0%
夫の年収	300万円未満	50.0%	65.0%	-15.0Pt.	50.0%
	300万円～400万円	65.2%	61.3%	3.9Pt.	34.8%
	400万円～500万円	62.1%	51.7%	10.4Pt.	37.9%
	500万円～600万円	38.3%	47.6%	-9.3Pt.	61.7%
	600万円～800万円	42.9%	36.7%	6.2Pt.	57.1%
	800万円～1,000万円	25.0%	42.9%	-17.9Pt.	75.0%
	1,000万円～1,500万円	0.0%	46.2%	-46.2Pt.	100.0%
	1,500万円以上	0.0%	0.0%	0.0Pt.	100.0%
世帯年収	300万円未満	50.0%	-	-	50.0%
	300万円～400万円	66.7%	-	-	33.3%
	400万円～500万円	64.8%	-	-	35.2%
	500万円～600万円	37.7%	-	-	62.3%
	600万円～800万円	45.6%	-	-	54.4%
	800万円～1,000万円	32.4%	-	-	67.6%
	1,000万円～1,500万円	20.0%	-	-	80.0%
	1,500万円以上	0.0%	-	-	100.0%

図表B 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／亭主の仕事に対する満足度 (n=300)

		夫の仕事に不満がある			夫の仕事に不満はない
		今回	前回	変動	
女性全体		48.3%	51.7%	-3.4Pt.	51.7%
夫の業種	農業	0.0%	50.0%	-50.0Pt.	100.0%
	鉱業	40.0%	0.0%	40.0Pt.	60.0%
	建設業	37.0%	48.3%	-11.3Pt.	63.0%
	食品製造業	33.3%	12.5%	20.8Pt.	66.7%
	資材製造業	63.6%	62.5%	1.1Pt.	36.4%
	機械器具製造業	47.4%	50.0%	-2.6Pt.	52.6%
	その他製造業	29.1%	26.3%	2.8Pt.	70.9%
	電気・ガス・熱供給・水道業	60.0%	66.7%	-6.7Pt.	40.0%
	情報通信業	26.7%	47.1%	-20.4Pt.	73.3%
	運輸業	73.7%	55.6%	18.1Pt.	26.3%
	卸売業	91.7%	27.3%	64.4Pt.	8.3%
	小売業	73.3%	59.1%	14.2Pt.	26.7%
	金融・保険業	42.9%	58.3%	-15.4Pt.	57.1%
	不動産業	40.0%	50.0%	-10.0Pt.	60.0%
	専門サービス業	66.7%	66.7%	0.0Pt.	33.3%
	飲食店、宿泊業	83.3%	81.8%	1.5Pt.	16.7%
	娯楽業	0.0%	33.3%	-33.3Pt.	100.0%
	教育、学習支援業	50.0%	57.1%	-7.1Pt.	50.0%
	医療、福祉	42.9%	38.1%	4.8Pt.	57.1%
	その他サービス業	47.8%	66.7%	-18.9Pt.	52.2%
公務	32.4%	58.3%	-25.9Pt.	67.6%	
その他	54.5%	63.2%	-8.7Pt.	45.5%	



図表C 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／不満理由(年代別)

(n=145/複数回答)

	女性全体			20代	30代	40代
	今回	前回	変動			
給料が低い	73.1%	78.7%	-5.6Pt.	76.5%	70.4%	72.5%
残業が多い	40.0%	35.5%	4.5Pt.	54.9%	37.0%	25.0%
福利厚生が不十分	22.8%	23.9%	-1.1Pt.	27.5%	25.9%	12.5%
休みが少ない	21.4%	25.8%	-4.4Pt.	21.6%	24.1%	17.5%
勤務形態が不規則	19.3%	13.5%	5.8Pt.	23.5%	22.2%	10.0%
将来性が感じられない会社	15.9%	14.2%	1.7Pt.	21.6%	11.1%	15.0%
土日休みでない	15.2%	16.1%	-0.9Pt.	17.6%	18.5%	7.5%
ブラック企業	11.7%	9.0%	2.7Pt.	19.6%	7.4%	7.5%
転勤が多い	7.6%	6.5%	1.1Pt.	13.7%	5.6%	2.5%
周囲と生活のペースが異なる	6.9%	7.7%	7.7Pt.	7.8%	9.3%	2.5%
出張などで不在が多い	4.1%	3.2%	0.9Pt.	3.9%	3.7%	5.0%
清潔感がない	4.1%	1.9%	1.9Pt.	3.9%	3.7%	5.0%
雇用形態が正社員ではない	2.8%	7.1%	-4.3Pt.	2.0%	5.6%	0.0%
企業のイメージが悪い	2.1%	1.9%	1.9Pt.	0.0%	1.9%	5.0%
居住環境(社宅など)が悪い	2.1%	1.3%	0.8Pt.	3.9%	0.0%	2.5%
その他	4.1%	9.0%	-4.9Pt.	2.0%	5.6%	5.0%

図表D 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／不満理由(年収別)

(n=145/複数回答)

	女性全体	夫の年収							
		300万円未満	300万円〜400万円	400万円〜500万円	500万円〜600万円	600万円〜800万円	800万円〜100万円	100万円〜150万円	150万円以上
給料が低い	73.1%	85.7%	86.0%	83.3%	56.5%	54.2%	20.0%	-	-
残業が多い	40.0%	21.4%	34.9%	55.6%	56.5%	25.0%	20.0%	-	-
福利厚生が不十分	22.8%	7.1%	27.9%	27.8%	21.7%	20.8%	0.0%	-	-
休みが少ない	21.4%	35.7%	25.6%	19.4%	21.7%	8.3%	20.0%	-	-
勤務形態が不規則	19.3%	21.4%	23.3%	19.4%	21.7%	12.5%	0.0%	-	-
将来性が感じられない会社	15.9%	14.3%	25.6%	16.7%	13.0%	4.2%	0.0%	-	-
土日休みでない	15.2%	28.6%	14.0%	25.0%	13.0%	0.0%	0.0%	-	-
ブラック企業	11.7%	21.4%	9.3%	8.3%	17.4%	8.3%	20.0%	-	-
転勤が多い	7.6%	0.0%	4.7%	11.1%	8.7%	12.5%	0.0%	-	-
周囲と生活のペースが異なる	6.9%	0.0%	7.0%	11.1%	8.7%	4.2%	0.0%	-	-
出張などで不在が多い	4.1%	0.0%	4.7%	0.0%	4.3%	8.3%	20.0%	-	-
清潔感がない	4.1%	7.1%	4.7%	5.6%	0.0%	4.2%	0.0%	-	-
雇用形態が正社員ではない	2.8%	7.1%	4.7%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	-	-
企業のイメージが悪い	2.1%	7.1%	2.3%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	-	-
居住環境(社宅など)が悪い	2.1%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	-	-
その他	4.1%	14.3%	2.3%	5.6%	0.0%	4.2%	0.0%	-	-

図表E 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／亭主の仕事の原因とする離婚意識

(n=145)

		夫の仕事が原因で離婚したい と思ったことがある。			夫の仕事が原因で 離婚したいと 思ったことはない。
		今回	前回	変動	
女性全体		13.8%	12.3%	1.5Pt.	86.2%
年代	20代	9.8%	10.7%	-0.9Pt.	90.2%
	30代	13.0%	9.8%	3.2Pt.	87.0%
	40代	20.0%	16.7%	3.3Pt.	80.0%
夫の 年収	300万円未満	28.6%	23.1%	5.5Pt.	71.4%
	300万円～400万円	16.3%	6.5%	9.8Pt.	83.7%
	400万円～500万円	8.3%	6.7%	1.6Pt.	91.7%
	500万円～600万円	8.7%	10.0%	-1.3Pt.	91.3%
	600万円～800万円	15.4%	22.2%	-6.8Pt.	84.6%
	800万円～1,000万円	40.0%	22.2%	17.8Pt.	60.0%
	1,000万円～1,500万円	-	0.0%	-	-
	1,500万円以上	-	0.0%	-	-
世帯 年収	300万円未満	22.2%	-	-	77.8%
	300万円～400万円	26.3%	-	-	73.7%
	400万円～500万円	26.3%	-	-	73.7%
	500万円～600万円	7.9%	-	-	92.1%
	600万円～800万円	6.5%	-	-	93.5%
	800万円～1,000万円	13.0%	-	-	87.0%
	1,000万円～1,500万円	0.0%	-	-	100.0%
	1,500万円以上	0.0%	-	-	100.0%

図表F 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／亭主の仕事の原因とする離婚意識

(n=145)

		夫の仕事が原因で離婚したい と思ったことがある。			夫の仕事が原因で 離婚したいと 思ったことはない。
		今回	前回	変動	
女性全体		13.8%	12.3%	1.5Pt.	86.2%
夫の業種	農業	-	100.0%	-	-
	鉱業	0.0%	0.0%	0.0Pt.	100.0%
	建設業	0.0%	14.3%	-14.3Pt.	100.0%
	食品製造業	0.0%	0.0%	0.0Pt.	100.0%
	資材製造業	28.6%	0.0%	28.6Pt.	71.4%
	機械器具製造業	22.2%	10.0%	12.2Pt.	77.8%
	その他製造業	11.1%	20.0%	-8.9Pt.	88.9%
	電気・ガス・熱供給・水道業	33.3%	0.0%	33.3Pt.	66.7%
	情報通信業	0.0%	0.0%	0.0Pt.	100.0%
	運輸業	21.4%	10.0%	11.4Pt.	78.6%
	卸売業	9.1%	0.0%	9.1Pt.	90.9%
	小売業	27.3%	7.7%	19.6Pt.	72.7%
	金融・保険業	0.0%	42.9%	-42.9Pt.	100.0%
	不動産業	0.0%	100.0%	-100.0Pt.	100.0%
	専門サービス業	0.0%	25.0%	-25.0Pt.	100.0%
	飲食店、宿泊業	0.0%	11.1%	-11.1Pt.	100.0%
	娯楽業	0.0%	0.0%	0.0Pt.	100.0%
	教育、学習支援業	0.0%	0.0%	0.0Pt.	100.0%
	医療、福祉	16.7%	0.0%	16.7Pt.	83.3%
	その他サービス業	18.2%	25.0%	-6.8Pt.	81.8%
公務	9.1%	7.1%	2.0Pt.	90.9%	
その他	16.7%	8.3%	8.4Pt.	83.3%	

図表G 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／離婚したいと思う理由(年代別) (n=20/複数回答)

	女性全体			20代	30代	40代
	今回	前回	変動			
給料が低い	85.0%	78.9%	6.1Pt.	100.0%	57.1%	100.0%
残業が多い	35.0%	36.8%	-1.8Pt.	20.0%	28.6%	50.0%
将来性が感じられない会社	25.0%	10.5%	14.5Pt.	40.0%	14.3%	25.0%
休みが少ない	10.0%	31.6%	-21.6Pt.	0.0%	14.3%	12.5%
勤務形態が不規則	10.0%	21.1%	-11.1Pt.	20.0%	14.3%	0.0%
転勤が多い	10.0%	10.5%	-0.5Pt.	0.0%	14.3%	12.5%
福利厚生が不十分	10.0%	10.5%	-0.5Pt.	0.0%	14.3%	12.5%
周囲と生活のペースが異なる	10.0%	10.5%	10.5Pt.	40.0%	0.0%	0.0%
居住環境(社宅など)が悪い	10.0%	5.3%	4.7Pt.	0.0%	14.3%	12.5%
土日休みでない	5.0%	26.3%	-21.3Pt.	20.0%	0.0%	0.0%
ブラック企業	5.0%	15.8%	-10.8Pt.	0.0%	0.0%	12.5%
雇用形態が正社員ではない	5.0%	10.5%	-5.5Pt.	0.0%	0.0%	12.5%
企業のイメージが悪い	5.0%	5.3%	5.3Pt.	0.0%	14.3%	0.0%
出張などで不在が多い	5.0%	0.0%	5.0Pt.	0.0%	0.0%	12.5%
清潔感がない	0.0%	0.0%	0.0Pt.	0.0%	0.0%	0.0%
その他	5.0%	15.8%	-10.8Pt.	0.0%	14.3%	0.0%

図表H 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／亭主の仕事の魅力(年収別) (n=155)

	女性全体			20代	30代	40代
	今回	前回	変動			
雇用形態が正社員である	31.0%	35.2%	-4.2Pt.	28.6%	28.3%	35.0%
福利厚生が充実している	27.7%	20.0%	7.7Pt.	32.7%	32.6%	20.0%
転勤が少ない	22.6%	20.7%	1.9Pt.	18.4%	15.2%	31.7%
給料が高い	16.8%	25.5%	-8.7Pt.	18.4%	8.7%	21.7%
有給が取りやすい	16.8%	23.4%	-6.6Pt.	26.5%	6.5%	16.7%
残業が少ない	16.8%	14.5%	2.3Pt.	18.4%	17.4%	15.0%
魅力を感じる点はなにもない	16.8%	13.8%	3.0Pt.	14.3%	23.9%	13.3%
働いている企業のイメージが	13.5%	11.0%	2.5Pt.	12.2%	15.2%	13.3%
休みが多い	10.3%	7.6%	2.7Pt.	14.3%	13.0%	5.0%
会社に将来性がある	5.8%	7.6%	-1.8Pt.	6.1%	4.3%	6.7%
居住環境(社宅など)がいい	3.9%	7.6%	-3.7Pt.	4.1%	6.5%	1.7%
製品(サービス)が好き	1.3%	0.7%	0.6Pt.	0.0%	2.2%	1.7%
その他	1.3%	5.5%	-4.2Pt.	0.0%	2.2%	1.7%

図表I 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／夫に勤めてほしい企業像

(n=300)

	女性全体			20代	30代	40代
	今回	前回	変動			
大企業	67.0%	68.7%	-1.7Pt.	66.0%	71.0%	64.0%
少数精鋭の企業	33.0%	31.3%	1.7Pt.	34.0%	29.0%	36.0%
転勤が多い企業	9.0%	9.0%	0.0Pt.	10.0%	10.0%	7.0%
転勤が少ない企業	91.0%	91.0%	0.0Pt.	90.0%	90.0%	93.0%
国内志向が強い企業	79.3%	82.3%	-3.0Pt.	83.0%	73.0%	82.0%
海外志向が強い企業	20.7%	17.7%	3.0Pt.	17.0%	7.0%	18.0%
新興企業	29.7%	34.0%	-4.3Pt.	37.0%	21.0%	31.0%
老舗企業	70.3%	66.0%	4.3Pt.	63.0%	79.0%	69.0%
実力主義の企業	58.0%	65.7%	-7.7Pt.	61.0%	59.0%	54.0%
年功序列の企業	42.0%	34.3%	7.7Pt.	39.0%	41.0%	46.0%
民間企業	53.7%	55.7%	-2.0Pt.	52.0%	52.0%	57.0%
公的機関	46.3%	44.3%	2.0Pt.	48.0%	48.0%	43.0%
国内資本企業	78.7%	82.7%	-4.0Pt.	81.0%	75.0%	80.0%
外資系企業	21.3%	17.3%	4.0Pt.	19.0%	25.0%	20.0%
土日が休みの企業	86.0%	83.7%	2.3Pt.	80.0%	85.0%	93.0%
平日が休みの企業	14.0%	16.3%	-2.3Pt.	20.0%	15.0%	7.0%
勤務地が大都市である企業	54.0%	58.3%	-4.3Pt.	45.0%	60.0%	57.0%
勤務地が地方である企業	46.0%	41.7%	4.3Pt.	55.0%	40.0%	43.0%
職場の人間関係が密な企業	51.7%	51.0%	0.7Pt.	49.0%	45.0%	61.0%
職場の人間関係がドライな企業	48.3%	49.0%	-0.7Pt.	51.0%	55.0%	39.0%

図表J 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／妻の就労状況

(n=300)

		妻が就労している			妻が 就労していない
		今回	前回	変動	
男性全体		55.0%	59.0%	-4.0Pt.	45.0%
年齢	20代	60.0%	58.0%	2.0Pt.	40.0%
	30代	52.0%	62.0%	-10.0Pt.	48.0%
	40代	53.0%	57.0%	-4.0Pt.	47.0%
夫の 年収	300万円未満	61.9%	60.0%	1.9Pt.	38.1%
	300万円～400万円	64.3%	67.3%	-3.0Pt.	35.7%
	400万円～500万円	57.4%	64.1%	-6.7Pt.	42.6%
	500万円～600万円	48.3%	69.4%	-21.1Pt.	51.7%
	600万円～800万円	58.0%	47.5%	10.5Pt.	42.0%
	800万円～1,000万円	40.7%	55.0%	-14.3Pt.	59.3%
	1,000万円～1,500万円	41.2%	25.0%	16.2Pt.	58.8%
	1,500万円以上	100.0%	50.0%	50.0Pt.	0.0%
夫の 業種	農業	75.0%	50.0%	25.0Pt.	25.0%
	鉱業	50.0%	0.0%	50.0Pt.	50.0%
	建設業	56.0%	56.3%	-0.2Pt.	44.0%
	食品製造業	44.4%	66.7%	-22.3Pt.	55.6%
	資材製造業	42.9%	33.3%	9.6Pt.	57.1%
	機械器具製造業	58.1%	70.0%	-11.9Pt.	41.9%
	その他製造業	40.0%	60.0%	-20.0Pt.	60.0%
	電気・ガス・熱供給・水道業	57.1%	71.4%	-14.3Pt.	42.9%
	情報通信業	53.6%	60.6%	-7.0Pt.	46.4%
	運輸業	55.6%	61.5%	-5.9Pt.	44.4%
	卸売業	42.9%	53.8%	-10.9Pt.	57.1%
	小売業	72.7%	44.4%	28.3Pt.	27.3%
	金融・保険業	47.4%	62.5%	-15.1Pt.	52.6%
	不動産業	60.0%	83.3%	-23.3Pt.	40.0%
	専門サービス業	35.7%	66.7%	-31.0Pt.	64.3%
	飲食店、宿泊業	66.7%	0.0%	66.7Pt.	33.3%
	娯楽業	0.0%	66.7%	-66.7Pt.	100.0%
	教育、学習支援業	70.0%	80.0%	-10.0Pt.	30.0%
	医療、福祉	63.2%	67.7%	-4.5Pt.	36.8%
	その他サービス業	61.5%	50.0%	11.5Pt.	38.5%
	公務	59.4%	43.2%	16.2Pt.	40.6%
その他	70.0%	75.0%	-5.0Pt.	30.0%	

図表K 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／妻の就労に対する希望

(n=300)

		妻に就労してほしい			妻に就労してほしくない
		今回	前回	変動	
男性全体		55.6%	50.4%	5.2Pt.	44.4%
年代	20代	62.5%	59.5%	3.0Pt.	37.5%
	30代	56.3%	55.3%	1.0Pt.	43.7%
	40代	48.9%	37.2%	11.7Pt.	51.1%
夫の年収	300万円未満	62.5%	70.0%	-7.5Pt.	37.5%
	300万円～400万円	46.7%	29.4%	17.3Pt.	53.3%
	400万円～500万円	61.5%	69.6%	-8.1Pt.	38.5%
	500万円～600万円	54.8%	40.0%	14.8Pt.	45.2%
	600万円～800万円	65.5%	52.4%	13.1Pt.	34.5%
	800万円～1,000万円	50.0%	66.7%	-16.7Pt.	50.0%
	1,000万円～1,500万円	30.0%	0.0%	30.0Pt.	70.0%
	1,500万円以上	-	0.0%	-	-

図表L 第3回「離婚したくなる亭主の仕事」アンケート／妻の就労状況の理由

(妻が就労している n=165/複数回答、妻が就労していない n=135/複数回答)

		今回	前回	変動
妻が就労している	家計上は妻が働かなくても問題ないが、妻が働くことには賛成、家事・育児は積極的に協力している	41.2%	40.1%	1.1Pt.
	自分の収入だけでは、生活に支障がある	33.3%	37.3%	-4.0Pt.
	家計上は妻が働かなくても問題ないが、妻が働くことには賛成、家事・育児は妻任せであり、特に不満はない	8.5%	9.6%	-1.1Pt.
	家計上は妻が働かなくても問題ないが、妻が働くことには賛成、家事・育児はしつこく協力している	5.5%	5.1%	0.4Pt.
	妻の方が収入が多い	5.5%	4.5%	1.0Pt.
	家計上は妻が働かなくても問題ないため、妻が働くことには反対	4.8%	2.8%	2.0Pt.
妻が就労していない	妻が子育てに専念しがっている	61.5%	48.8%	12.7Pt.
	自分の収入だけで十分である	25.9%	29.3%	-3.4Pt.
	妻が家事に専念しがっている	25.9%	14.6%	11.3Pt.
	家事・育児と両立できる仕事がない	14.8%	17.9%	-3.1Pt.
	妻が働きたがらない	14.1%	8.1%	6.0Pt.
	自分の転勤が多いため、就労しにくい	2.2%	9.8%	-7.6Pt.